

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立市民健康文化センター
指定管理者名	市民健康文化センター運営共同企業体(公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社明治スポーツプラザ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため (相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	・所在地 南区麻溝台1872-1・敷地面積 7,987.76㎡・建物面積 4,080.63㎡・延床面積 6191.22㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上2階) 1階 プール、浴室、多目的広場、多目的会議室1、カフェ 2階 多目的会議室2、茶室、講習室1・2・3、工作室(陶芸窯)、展示コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	324,672	333,085	292,998	83,399	147,733		
利用料金合計(円)	50,027,328	52,344,856	47,164,171	14,533,689	28,588,160		

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<p>・指標1、指標2ともに、目標値に届かなかったが、新型コロナウイルス感染症による利用制限や施設休所等の影響を受けたものである。特に、令和3年度は繁忙期である、夏場の8月、9月に施設休所となり、プール施設である特性上、年間利用者数の伸び率に大きく響いた。</p> <p>・実際の開所日数や定員制限、季節変動等を考慮した目標値は、指標1では68,757人、指標2では13,515人となり、達成度はそれぞれ87.9%と106.3%となった。</p> <p>・コロナ禍において感染症対策を講じ、施設のPR活動や閑散期にプール利用促進キャンペーンを実施する等、利用者の増加に努めた。また、令和2年度と比較し、プール利用者数や自主事業参加人数が回復傾向である点を評価し、B評価とする。</p>

※令和2年度及び令和3年度における目標値の( )の数値は調整前の目標値

### 指標1

指標名(単位)	プールの利用者数(人)
指標式と指標の説明	市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進を達成させるため、成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	115,000	117,000	131,000	22,944 (132,000)	68,757 (133,000)	134,000	135,000
実績値(人)	129,926	137,955	125,792	31,287	60,451		
達成度(%)	113.0%	117.9%	96.0%	136.4%	87.9%	0.0%	0.0%

指標 2							
指標名 (単位)	自主事業の参加人数(人)						
指標式と指標の説明	市民健康文化センター全体の諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	16,800	17,000	26,500	4,417 (26,500)	13,515 (26,500)	26,500	26,500
実績値 (人)	25,989	29,662	28,252	3,583	14,368		
達成度 (%)	154.7%	174.5%	106.6%	81.1%	106.3%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設休所や定員制限により、当初の計画どおりに事業が実施できないことや、実施できる事業の範囲も限られていた中で、オリンピックの関連事業としてのポッチャ体験会や既存のスカイウェルを有料化し居心地の良い空間づくりをする等、新規事業を積極的に実施し、施設の活性化を図った点を評価する。

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
健康増進のための空間づくりの事業	4月～3月	プール教室や体操教室等の事業 (18事業)	○
文化の醸成・創造活動へのサポートの事業	4月～3月	美術大学生のワークショップや工作・習字教室等の事業 (4事業)	○
地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業	4月～3月	ふれあい広場を活用した作品展示や近隣施設と連携したスタンプラリー等の事業 (5事業)	○

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に対しては2.1ポイントとわずかに下回ったが、令和2年度と比較し、18.0ポイントの増加となっているほか、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限等から不満につながる背景があった中で、利用者のニーズに沿った運営がされたと評価できる。</li> <li>・また、令和3年度からインターネットによる回答方法を設け、「LINE@」による周知など、回答件数の増加に向け、積極的に取り組んだ点も評価できる。</li> </ul>

### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施(634件)(令和3年7月～8月)
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（％）	83.2	91.6	90.8	69.9	87.9		
達成度（％）	92.4%	101.8%	100.9%	77.7%	97.7%	0.0%	0.0%

### その他の取組

取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	文化事業開催時	参加教室に関してのアンケートを実施。(文化教室のみ)教室終了時に回収。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	本体事業収支は赤字であるが、全体収支が黒字であり、指定管理者の団体本体の経営状況としても、特段の問題はなく安定しているため、A評価とする。

### 施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入（a）	207,279	206,933	208,179
指定管理料	156,278	153,475	147,779
利用料金収入	47,164	14,533	28,588
その他の収入	3,837	38,925	31,812
支出（b）	222,525	191,217	212,653
人件費	101,032	89,177	96,995
本社管理経費	8,850	9,102	9,279
その他の支出	112,643	92,938	106,379
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	-15,246	15,716	-4,474
自主事業収入（d）	19,585	3,341	12,574
自主事業支出（e）	5,300	3,430	3,023
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	14,285	-89	9,551
全体収支 【(c)+(f)】	-961	15,627	5,077
備考			

### 団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和3年7月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	施設の老朽化が進む中、休所期間を活用し、プール地下ピットの躯体修繕等を実施する等、適切な維持管理に努めたことから加点するもの。	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス拡大防止による施設閉鎖や利用制限の影響があり、成果指標であるプール利用者及び自主事業の集客には苦慮した。特に繁忙期である7月の利用者数は令和元年度の7割弱まで回復していたが、緊急事態宣言発令に伴う8月、9月の休館が利用者数の減少に大きく響いた。自主事業についても定員を制限して実施せざるを得ない状況だったため厳しい結果となった。

閑散期は「プール利用促進キャンペーン」としてお菓子詰め合わせのプレゼントを実施するなど利用者数の増加に尽力した。利用者満足度については、総合的な満足度の項目について「満足」、「やや満足」の割合が87.9%となり、コロナ禍における利用促進と適正な感染症対策のバランスをとりながら運営ができたと考えている。

## 10 所管課意見

・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設休所や感染症対策の影響により、自主事業の中止や利用定員の制限等、感染症対策を講じた上での運営となったが、コロナ禍における施設運営や自主事業の実施を工夫して取り組んだ点について評価したい。

・特に令和3年度は繁忙期である、夏場の8月、9月に施設休所となり、プール利用者数の伸び率に大きく影響したが、施設のPR活動や閑散期にプール利用促進キャンペーンを実施する等、利用者の増加に努めた点を評価する。

・老朽化が進み不具合が生じた箇所について、迅速に修繕を実施し、適切な維持管理に努めた点を評価する。

・コロナ禍が長期化する中において、昨年度と比較し、利用者が増加している点については、施設における感染症対策が十分に講じられ、利用者が安心して利用できていたことによるものと考えられる。引き続き、コロナ禍における施設運営について、自主事業や施設の新たな活用方法等の展開に期待したい。

## 11 選考委員会意見

・ウェブ回答者の年齢層や性別等の分布を把握することは、運用に有効であるため、今後の分析に活かしてほしい。ウェブアンケートについては、コロナ禍において非常に有効なツールであることから、今後も適切に活用してほしい。

・夜間の施設利用や、若年層の利用者が少ない点については、今後の更なる利用拡大のチャンスと捉え、新たな取組に期待したい。

・LINEについて、用途に合わせ、引き続きを有効に活用し、利用者の利便性の向上に努めていただきたい。

### 総合評価（自動判定）

**A**

(70/100)

